

三三四八番

夏麻引く

海上瀉うなかみがたの

沖おきつ渚すに

舟ふねは留とどめむ

さ

夜よふけにけり

三三四九番

葛飾かづしかの

真間ままの浦廻うらみを

漕こぐ舟ふねの

舟人ふねびと騒さわく

波立なみたつらしも

三三五〇番

筑波嶺つくはねの

新桑繭にひぐはまよの

衣きぬはあれど

君きみが御衣みけしし

あやに着き欲ほしも

三三五一番

筑波嶺つくはねに

雪ゆきかも降ふらる

いなをかも

かなしき

児ころが 布乾にのほさるかも